

上越市の国保税はどうなっているか

——県内他市と比べてみました——

「高い国保税を引き下げた」が、この間のいつせい地方選挙の大きな争点であったと『しんぶん赤旗』で報道されてきました。例えば大阪市では、「夫婦と子ども二人世帯、年間所得280万円で国保税45万円」(3月7日)などです。

上越市の国民健康保険税は、これまで「県内トップクラス」というのが定説でした。そうしたことから日本共産党議員団は、繰り返し、繰り返しこの問題を取り上げ、引き下げを求めてきました。その結果、合併前と合併後にそれぞれ10%近くの引き下げが行われてきました。「現状はどうなっているか」、3月議会の厚生常任委員会に提出された資料により、新潟市、長岡市、柏崎市と比較してみました。(下表参照)

「県内トップクラス」の状況からは、相当改善されていることが、明らかになりました。この引き下げの財源には、国民健康保険財政調整基金を取り崩してあてています。その基金は、平成17年度末には7億7600万円ありましたが、18年度に4億4千万、19年度に3億4千万取り崩して、19年度末には6700万円になり、「底をついた」状況になります。現在の水準を維持するためには、一般会計からの繰り入れ、国庫負担の増額が必要です。

	家族数	夫婦のみ		夫婦子ども二人				夫婦子3	
		課税所得金額	250万円	500万円	250万円	500万円	750万円		1000万円
上越市	所得割	7.25%	181,250	362,500	181,250	362,500	543,750	725,000	181,250
	均等割	18,000	36,000	36,000	72,000	72,000	72,000	72,000	90,000
	平等割	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000
	合計		243,250	424,500	279,250	460,500	560,000	560,000	297,250
新潟市	所得割	8.60%	215,000	430,000	215,000	430,000	645,000	860,000	215,000
	均等割	24,000	48,000	48,000	96,000	96,000	96,000	96,000	120,000
	平等割	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000
	合計		291,000	506,000	339,000	554,000	560,000	560,000	363,000
長岡市	所得割	8.72%	218,000	436,000	218,000	436,000	654,000	872,000	218,000
	均等割	20,881	41,762	41,762	83,524	83,524	83,524	83,524	104,405
	平等割	25,481	25,481	25,481	25,481	25,481	25,481	25,481	25,481
	合計		285,243	503,243	327,005	545,005	560,000	560,000	347,886
柏崎市	所得割	8.40%	210,000	420,000	210,000	420,000	630,000	840,000	210,000
	均等割	23,200	46,400	46,400	92,800	92,800	92,800	92,800	116,000
	平等割	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800
	合計		282,200	492,200	328,600	538,600	560,000	560,000	351,800

日本共産党上越市議会議員杉本敏宏の

市政レポート

2007年4月29日 142
発行 杉本敏宏事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832

世帯で国民健康保険に加入している加入者ごとに算定した、所得割額、均等割額、平等割額を合計した金額で、課税限度額は56万円です。

所得割額は、前年中の所得から基礎控除後の額に課税率を乗じて計算
各市の率・額等は、平成18年12月現在(3月議会厚生常任委員会資料より)
比較のために、「資産割」のない市を抽出